

長就任挨拶

般社団法人 土地改良建設協会

洋 宮 本

興といった活動における更なる活躍が期待されてい

から一般社団法人となり、土地改良建設技

の 向上 月

この土

地 改良

進行し、農業生産力の停滞や、地域コミュニティの進み、農村人口・担い手の減少による耕作放棄等がては、社会構造の変化から、都市部以上に高齢化が待が高まりつつあります。一方で、農村地域におい株高が進み、デフレ脱却や本格的な景気回復への期株高が進み、デフレ脱却や本格的な景気回復への期た担な金融緩和策が示されて以来、一気に円安やさて、我が国の経済は、昨年末に安倍内閣が発足さて、我が国の経済は、昨年末に安倍内閣が発足 でありますとともに、その責任の重さに、あらため会の会長に就任いたしましたことは、身に余る光栄ます。こうした時期に、中村会長の後任として当協 まいりますので、よろしくお願い申し上げます。 力のもと、当協会の一層の発展に精一杯取り組んで て身の引き締まる思いであります。会員各位のご協 一下といった現象が見受けられます。

出した農作物の販売が増加しつつあるだけでなく、ています。無農薬・低農薬といった栽培方法を打ち国内の農作物に関する、安全・安心への関心が高まっ だし、開発途上国の人口増加や食生活の高度化により海外から輸入すればよいという声もあります。た問題につきましては、不足すれば日本の経済力によな動きが活発化してきています。また、食料需給のな動きが活発化してき 市場を通さず産地と消費者との直接取引など、様々地域で生産した農産物を地域で消費する地産地消、出した農作物の販売が増加しつつあるだけでなく、 農業生産が低下傾向にあることなどから、そうした こうした状況の中、近年、輸入品ばかりでなく、 世界の食料需要が増加していることや、農地の改廃

> せ 方は、 か なり厳し b 0) であると言わざるを得

設協会の会長に選任されました宮本洋一でござい

たび5月31日の総会におきまして土地

改

良 ま建

年が経過しましたが、被災地域におきましては、マ曽有の被害をもたらした東日本大震災の発生から2計画的に進めていかなければなりません。また、未計画的に進めていかなければなりません。また、未老朽化が進むこれらの施設の維持管理・更新を、ラ トを組み合わせた防災・減災対策の推進が急務と考クの約2割が存在していることから、ハードとソフ海地震の被害想定エリアに、全国の農業水利ストッいずれ来ることが予想されている東海・東南海・南いずれ来ることが予 からもその大切な役割に変わりはないと思います。境の保全などにも寄与してきました。そして、これられるとともに、農村地域の生活環境整備や自然環 500施設が耐用年数を迎えるといわれています。われ、その2割がすでに耐用年数を超過し、毎年水利施設のストック量は17・9兆円(平成21年)と言 えます。 力強く推進されていくことが望まれます。さらには、スタープランに基づいた農業農村の復興がより一層 整備や干拓、農地造成、 農業農村整備事業は戦後、 開していくことが重要であり、 にも、生産性が高く、また付加価 農村整備事業の実施が前程となります。これまでも、 引き続き、 現在、ダム・頭首工・用排水機場などの基幹農業 ける農業 圃場整備などによって進め ダムなど農業水利施設 その実現には、農業 生 らい農業を展 南

えておりますので、 汲み取り、 これからも、 の役割を適切に果たして行きたいと考えております。 本協会におきましては、こうした課題の解決に向 いたしまして、 農業農村整備の円滑な推進が図られるよう、そ 協会活動に的確に反映していきたいと考 会員企業の皆様のニーズをしっかりと ご挨拶とさせていただきます。 引続きのご理解とご協力をお願